



野原の歌 5号(秋号)をお届けします。秋号は10月発行の予定でしたが、先般行われた回想法講演会の報告記事のために11月発行といたしました。ご了承ください。
 晩秋、初冬の風景が広がるこの頃です。会員の皆様には冬支度に励んでいらっしゃることでしょう。
 12月には雪の便りも。傾聴訪問時の車の運転には十分お気をつけください。

新北信ブロック代表
 えんど
猿渡さち子 (千曲会) 千曲市

空席となっていました北信ブロック代表が決まりました。

北信ブロックの皆さん、長野県連絡協議会へのご参加をお待ちしています。



回想法講演会

認知症ケア・予防における回想法
 傾聴活動と回想法～傾聴に生かす回想法～

2015年10月31日(土)
 岡谷諏訪湖ハイツ大会議室
 参加者数 112名 アンケート回収97名

多くの方に参加していただきました。ありがとうございました。会場変更でご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。



回想法について詳しく知ることができ、楽しく学べたという感想を多くいただきました。回想法はカフェ・サロンなどで取り入れられている方法です。私達傾聴者には講演のサブテーマ「傾聴活動に生かす」と視点で参考にさせていただいたのではないかと思います。

アンケート結果より

- ◆ 講座内容について
 - 良かった 92人
- ◆ 回想法を傾聴活動に生かすことについて
 - 生かしてみたい 88人
- ◆ 今後の講座参加について
 - 参加したい 89人
- ◆ 会場について
 - 1ヶ所の会場でよい 34人
 - 2ヶ所の会場にしたい 27人

- ◆ どのような講座を受けてみたいか
 - ・ 定例会・リーダー会の進め方・ロールプレイングの仕方について
 - ・ ほとんど話せない認知症の方への接し方
 - ・ 回想法のロールプレイング
 - ・ 講師の先生は幅広く求めてほしい
- ◆ 自由記述より感想
 - 回想法を知りたいと思っていたら、良い機会に恵まれました。わかりやすい講座が良かったです。
 - 誰もがもっている懐かしい思い出を話し合えるきっかけ作りの大切さを教えていただき感謝。
 - カフェ活動で使える方法だと思いました。



この他にもたくさんの感想・意見・要望をいただきました。今後の研修等の企画の参考にさせていただきます。アンケートにお答えくださった方々ありがとうございました。今回の講座を実施するに当たり、地元「傾聴みみずく」の方々に多大な御協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



東日本大震災被災地訪問報告

傾聴ボランティア「心友の会」(佐久)



私達はこの度、6月5日夜、バスで女川へボランティアに行き8日に帰ってきました。8日にNPO法人お茶っこケア「よってがいん」で、利用者の方々と、お手玉・絵手紙・歌・健康体操等で交流を図ることにしました。その後、鬼久保先生が責任者の方に「傾聴の時間をとらせて頂きたい」とお願いし、私達も傾聴の勉強をさせて頂いたので良い機会を得ることができました。

お話を伺った方は70才代の女性で耳の不自由な方でした。3日3晩水も食料も電気もトイレもなく、怖さと寒さの中を山を登って、逃げのびた人達と過ごしたことが思い出され、「3日間だけ…3日間だけ」と繰り返し言っていたそうです。

「大変でしたね。どんなに怖かったでしょう…辛かったでしょうね…」としか言うことは出来ませんでした。私達の知らない、計り知れない苦しみと怖さや悲しみをいっぺんに味わい、寒さの中で耐えていたと思うとこちらも一緒に泣けてしまいました。

「その中の避難所での、皆さんからの温かな食事、着るものの差し入れは本当にありがたかったです。」
「これも皆貰ったものです」と黒いカーディガンの下には細かい花柄の可愛い洋服を着ていらっしゃいました。

「津波が来るから高台に逃げろと言われ、トラックに乗せて頂き山に入り命を救われました。そして、その方は次の方を助けようとして戻りましたが帰ってきませんでした。また、他の方は大事なものを持ちに行き戻ってきませんでした。」とのこと。着の身着のまま逃げた人との境でしたとあっさりしていました。「私よりももっと凄い人達もいたのに、地獄のような生活を越え生き延びてきたのだから、頑張らないと行けないと思うと、自分を納得させ元気を出している。」とほのかに笑って見せてくださいました。私が「今まで頑張ってきたのだから、これからは体調に気をつけて長生きしてくださいね。」と言ったら「有難うございます」と笑顔を見せてくれました。

次は、壊れた自宅を解体して仮設に入るか、修繕して住むかで迷われた方の話でした。最初は仮設を申し込んだのですが、やはり仮設には入らないと3回くらい迷ったそうです。「役場の人に、「これで3回目だからね…」と念を押され、最後に自宅を修繕して残すことに決めました。今思うと良い決断をしたと思っています。まわりは何もないけど安心して住んでいられます。」とのことでした。

「皆さん来てくれて本当に有難うございました。」
頑張ってくださいとは言えず、体に気をつけてくださいと別れました。つい感情が入ってしまい、なにかしてあげたい、住所を聞いて手紙の交換ぐらいはしたいと思ったのですが、それはいけない、その場で終わらせないとと思い、深く反省いたしました。まだまだ勉強不足の私たちがいます。



今号より、会員の皆様おひとりお一人にカラー版をお届けできるようになりました。今まで、モノクロ版で物足りなかった方に鮮やかな紙面を読んでもらうことができます。送付方法は今まで通り、各グループの代表者の方にまとめてお届けします。社協など関係機関も余分をもって送付しますのでご活用ください。送付方法・会報への要望などは、代表長谷川にご連絡ください。

情報をお寄せください

養成講座・スキルアップ講座・各種研修会など、会員の皆さんが参加できるものがありましたらご連絡ください。会報紙面で広くお知らせいたします。11月の富士見町・原村のスキルアップ講座については4号紙面でお知らせいたしましたところ、近隣地区からの参加申込がありました。申込期日など間に合うようにご連絡ください。
会報の発行予定は3月・7月・10月・1月を予定しています。
連絡先は、長谷川代表あて。チラシ等同時に送付していただければありがたいです。

長野県傾聴ボランティア連絡協議会
代表 長谷川 昭 TEL FAX 0264-48-2133
携帯 09043981187
male kimama2@ot.kiso.ne.jp



会報担当 弓削淑子
TEL FAX 0266-74-1122
male yugetora@po30.lcv.ne.jp
☎ 391-0115 諏訪郡原村原山17217-2199

